

4 兵庫県教職員資質向上指標による自己点検 5段階で評価したのち、3段階（できている・できていない・わからない）の人数割合を表示。

分野	資産	教員としての資質の向上に関する指標
学習指導	授業実践力・授業改善力	1 学校教育目標や児童生徒の実態を踏まえた年間指導計画を作成し、計画的に授業を進めることができる。
		2 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。
		3 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。
		4 評価規準等に基づき、児童生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。
		5 わかる授業づくりに向けて、ICT機器等を活用することができる。
学級・HR経営	集団を高める力	6 いじめ、不登校などの教育課題の緊急性や重要性を理解し、他の教職員や関係機関と連携しながらその予防・解決に取り組むことができる。
		7 学校教育目標の実現に向け、学級経営案やホームルーム計画の立案・実行・改善ができ、児童生徒が安心して過ごせる学級づくりに取り組むことができる。
	一人一人の能力を高める力	8 児童生徒との適切な距離を保ちながら、生活背景や内面の理解に努め、カウンセリングマインドをもって、児童生徒と接することができる。
		9 保護者や関係機関と連携を図りながら、個別的教育支援計画や個別の指導計画を作成し、児童生徒等の教育的ニーズに応じた指導・支援を行うことができる。
チーム制で組織を担う	協働性・同僚性	10 「教職員の勤務時間適正化推進プラン」に基づき、児童生徒と向き合う時間の確保と、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、計画的に仕事を進めることができる。
		11 児童生徒への指導等に関して、同僚・先輩や管理職等に相談し、指導に生かすことができる。
	組織的対応力	12 校内における自分の役割を認識し、校務分掌を的確かつ効率的に遂行できる。
		13 家庭や地域社会と連携し、開かれた学校づくりに努めている。
資質を高める自律性	自己管理能力・変革力	14 学校の危機管理マニュアルを理解し、事件や事故、トラブルに適切に対応することができる。
		15 日頃から、ストレスマネジメントに努めるとともに、教員として自覚ある行動をとることができる。
		16 適切な言動を心がけ、児童生徒や保護者等からの信頼確保に努めている。
		17 日々の実践等を振り返り、主体的に自らの教育活動の工夫・改善に努めている。

